

令和 8 年度森林公園森の家施設等指定管理者評価委員会
会議録（要旨）

日 時	令和 8 年 6 月 19 日（金） 13：00～15：10	
場 所	静岡県庁別館 2 階第一会議室 B C（静岡市葵区迫手町 9 番 6 号）	
出 席 者	＜ 委 員 長 ＞	宮城島 史人（ふじのくに観光振興アドバイザー）
	＜ 委 員 ＞	荒巻 太枝子（静岡県シェアリングネイチャー協会理事） 井戸 直樹（ネイチャースクール森のたね代表） 木村 美穂（きむら工房） 船戸 修一（静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科 教授） 眞野 匡雄（静岡県中小企業団体中央会理事）
	ほか、指定管理者及び事務局	
評価対象者	株式会社ヤタロー（県立森林公園森の家、県立森林公園指定管理者）	
内 容	令和 7 年度における指定管理者の取組に対する評価及び第 5 期期間評価	

【注意】

- ・各発言者の要旨を記載している。
- ・公開に当たり、委員名は特定しない。委員長については、委員長としての発言のみ特定している。

株式会社ヤタローのプレゼンテーションに対する質疑応答

<質疑応答>

○委員 キッズ、子供たち、受講者の年齢、発達に合わせたプログラムがされていて、どういう体験を子供たちにさせたらいいのかという狙いを絞っている点がとてもいいと思います。

宿泊を兼ねての森の家、森林公園ならではのプログラム展開もとてもいいと思いますが気になる点は収益の問題です。

令和8年度の事業計画を見ても、レストラン事業の収益で数字を出すようになっているので、レストラン収益が下がってきているのが気になります。人件費や光熱水費が上昇している中でとても大変だと思いますが、何かプランがあったら教えてください。

これは県だと思いますが、バードピアは建築時に環境に配慮した建物で、エコハウスの意味合いも持った建物かと思います。報告書を見ると、屋上の散水ができなくなり、草が生えない状態になっているとのこと。

温度を下げるために散水する設備が付いていたと思いますが、県としては維持するのか、それとも一定の役割を果たしたとして修繕は行わないと考えているのか、計画があれば教えてください。

○指定管理者 夏場に涼を感じられるようなそうめんとかにしてみると、単価が下がってしまう問題もあるので、そのあたりを考えながら、今は小鉢をたくさんちりばめた「若葉御膳」というものを提供しています。

今後の展開としては、地域の環境や特性を生かした料理を展開し、食を通じて魅力を発信しながら集客を進めていくこと、団体客の夜の料理単価を上げることは難しいので、団体客の確保は継続しながら、新たな収入の確保策を考えると、ランチの充実化を図ることと、夜の料理で研修者以外の取れるところでもう少し取っていくこと、個人利用と団体利用の割合を半々ぐらいにもっていけば回復の余地はあると考えています。

○事務局 バードピアの散水設備の故障について、県から回答いたします。

県としても、修繕したいと考えていますが、施設全体に劣化があり、策定している「中期保全計画」に則って空調設備など、施設の運営に影響する設備の修繕を最優先に行っているところです。

予算の兼ね合いもあり、散水設備の修繕ができていないというのが現状です。

今後、中期保全計画の実施も進み、予算に余裕が出てくれば散水設備の修繕も

検討していきたいと考えています。

○委員 現状の中で最大限の努力を行っていることはよく感じられます。今まさに外的要因が厳しい状況で、何で森に入るのか、自然に入るのかそういった関わり方が必要になっている時代だと思います。自然との関わり方の提示についてやっていること、今後やっていきたいことがあれば教えてください。

○指定管理者 言葉としてよく使うのが「非日常体験」です。普段の生活では感じられないような感動はやはり現場に行かないと感じられない。そのような体験をすると納得できることを事前にアピールすることや、現在、子供だけでなく大人も疑似体験が当たり前になっているので、疑似体験ではない、原体験というか、現場の体験の良さを売っていきたいと考えています。

○委員 前年度委員から出た意見の対応策として、夏場の暑さ対策でミストファン、ミストシャワーの設置を検討しますと御回答いただいておりますが、今回利用者数が減少したこともあったので、外的要因は重々承知しておりますが涼感対策について教えてください。

秋に利用者が減った要因として雨が続いたとの説明があったかと思いますが、雨が續くとそもそも来ないのか、あるいは、予約はしているけど直前にキャンセルをされるのか、このあたりも外的要因が関係するのであれば、その対策を教えてください。

○指定管理者 夏場の暑さ対策として昨年度バードピアの入口に可搬式のミストファンを設置しました。今年度も引き続き同様の用意をしております。今後も実施していきたいと思います。

秋の雨の影響の話をしましたが、週末に来園者をカウントしています。カウントの仕方は巡視員が駐車場に停車している車の台数をカウントしますが、カウントする際の天候が非常に大きく影響します。雨の話としてはそのようなことになります。

○委員 森林というと、涼しいというイメージ、避暑地とも結びつきやすいので、もっと暑い時こそ森林公園というキャッチフレーズや、そういった動きになればいいなと思います。

○委員 ホームページやSNS、インスタグラムを見ても魅力的なイベントや写真を定期的にアップしており、近くにあれば行きたいと思うのに、レストランの利用客、全体の収益が減っているのはもったいない感覚があります。

宿泊で個人よりも団体の割合が多くなった時に1人あたりの単価でどれくらい差があるのか教えてください。もし、個人の方が圧倒的にいいということであれば、そちらにシフトしないとどんどんマイナスになってしまうのではと感じました。

インスタグラムで最近バイクのイベントがあったかと思います。そういったイベントがあると、レストランを利用しなくてもお弁当の用意などを前日から準備できることや、遠方の方も施設を知る機会になり、とてもいいと思いましたのでそういったイベントが増えていく方向にもっていくやり方があるのではと感じました。

団体の利用者が増えているのはリピーターが増えているのか、新規の団体利用客も増えているのか教えてください。もし、同じ団体が利用しているのであれば、物価高で全体的に価格が上がっているので、多少団体の食事を値上げしても仕方ないと思います。ここ数年団体客の食事等の価格がどの程度増えているのか教えてください。

鹿の解体や剥製作りなど、大人でも興味があるけどなかなか目にすることが少ないイベントが増えていて、今後それが広まると今まで興味があったけど見たことがなかった方が体験する機会が増えるという点が楽しみな部分です。

トイレの蓋が無いと危ないから設置してほしいというアンケート結果が毎回ある気がしますが、これは優先順位的に後回しなのか、やりたいと思っているのか教えてください。

○指定管理者 SNS等での情報発信について御評価いただきありがとうございます。レストランの収益が減っている点ですが、団体研修利用時の夕食の食事単価は2,200円くらいです。

個人の利用となると、食事プランで会席料理の提供となるので、6,600円、7,700円と3倍近い違いがあります。団体利用客が増えることはすごく有り難いことですが、理想を言えば閑散期に団体客が入り、繁忙期に個人が入るということが、非常に理想的です。

団体利用客の利用はリピーターが多いです。令和7年度から今年度にかけては新規の団体も増えています。特にダンススクールの団体が増えています。近隣の施設が改装をしている関係で当施設を見つけたのではと思います。

鹿の解体は数年前に、猟師をしている職員を採用できたことで、狩猟の関係者と連携して当初はジビエバーベキューを開催していましたが、解体をやってみようという話になり実施した結果、主催者の想像以上に好評なイベントとなったため、今年も継続開催を予定しています。加えて、ジビエも開催しようと思っております。

トイレの蓋の問題については、毎年アンケートでいただいておりますが、建設当初はユニットバスで、暖房便座も温水洗浄器の付いていないトイレだったところを既存トイレ専用ではない汎用の便座に交換した結果、交換した便座の蓋が便器後ろのタンクに当たってしまい、完全に開けることができないためやむなく蓋を取ったという経緯があります。

県とも協議しましたが、洋室についてはユニットバスごと交換しなければいけないこととなり、見積りを取ったところ当時 80 万円ほどかかることが分かったため見送られている状態です。

簡易的に蓋を置くことも考えておりますが、洗面と隣接しており、何かを落としてしまうことが利用者として懸念していることだと思うので、何かしら見栄えが悪くならないような物があれば早急に対応したいと思いながら、今まで来てしまっている状況です

○委員 森林公園の「サポーター」と「ボランティア」は違いがあるのでしょうか。

○指定管理者 ボランティアという表現で受け入れている方が歴史的には長いです。ボランティアは事務局をバードピアが兼ねている登録制の団体になります。森林公園の「ボランティアの会」という組織を作り、そちらに登録してもらい活動いただいております。

サポーターは、名簿は作っておりますが、特に規約がある組織ではなく、イベントごとに活動してもらっている、その都度イベントに参加いただいている方をサポーターと言います。

いわゆる参加者ですが、森林公園の応援部隊としてその日限りで参加いただいている方をサポーターとして捉えて、そのような表現をしています。

○委員 活動内容としては同じ活動の中で、サポーターとボランティアが一緒に活動するのでしょうか。

○指定管理者 ボランティア活動は、ボランティアのみで行っております。サポーター活動として行っているイベントにサポーターとして来ている方の中に、ボランティア活動をされている方もいるという構造になります。

○委員 今は資材や人件費が上昇し大変だと思います。料金については県の条例で上限が決まっていて、その上限ギリギリで設定していると記載がありますが、宿泊とレストランのセットになっているような料金は料金設定で自由が利くのでしょうか。

○指定管理者 条例で決まっているのはあくまで宿泊の料金と研修室の使用料の上限金額で、その範囲で価格設定をすることになります。

レストラン、食事については自主事業になりますので価格設定は指定管理者が自由に設定することができます。

したがって、宿泊とのセットプランの場合は2名1部屋で利用した場合の宿泊料金を設定して、それに料理の金額を計上して金額を設定しています。料理代をそのまま計上すると高額になってしまうので、料理代を抑えて一泊二食の宿泊を値頃感があるような価格設定にしています。

○委員 もう1点、ロコミを見たら2階の音が非常に気になるとか2度と泊りたくない、まともな大人が泊まる施設ではないといった辛辣な御意見がありますが、実際にそのようなクレームがあった場合、2階の宿泊者に注意をするなどはされているのでしょうか。

○指定管理者 音問題はかねてからあり、苦情があった場合は苦情のあった部屋に電話を差し上げその旨を伝えた上で、お静かにお願いしますというお断りの電話をしております。

音問題は上層階の音だけでなく、隣の部屋や木をふんだんに使った建物の構造上、2階に上がる階段を昇る振動もあります。廊下を歩くだけで振動や音がするので、一概に子供がはしゃいでいることが原因ではないことや、旅行に来て会話が弾むことは至極当然あるのですが、その声すら苦情になってしまうことがあります。音問題は指定管理者で解決できる問題ではないと思っています。

洋室はフロアカーペットの毛足を長くすることで騒音を減少できるか検証もしたのですが、効果のあるものではありませんでした。

空室がある場合は、1部屋空けて部屋を確保したり、上層階、下層階も直上直

下にならないように確保したりしているのですが、繁忙期や家族連れの多い時になると割り当てをすることが困難になり、クレームを覚悟で部屋を確保することもあります。

○委員 注意をして、その結果収まらないことは仕方がないことではありますが、こういった対応をしましたというのはクレームのあった方によく御説明をされたほうがよいかと思いますので、その点はよろしくお願いします。

○委員 プレゼンテーションを聞いて、非常に魅力のある内容だと思います。個人的には蟻を捕獲する道具作りをやってみたいと思うし、子供がいれば是非参加したい企画がたくさんあって大変よかったと思います。

建物が老朽化しているので音問題は防音装置をつける以外は無理だと思います。個人客と団体客の棲み分けは非常に大変だと思いますが、団体客は平日に訪れ、個人客は休日に訪れるのでうまく棲み分け、団体は団体として貸し切りにして、食事料金を安くするのではなく、料理も魅力的なものを出して単価を上げて、平日は団体、休日は個人といった形でやるのがいいのではないかと思います。

質問として、以前行った時に松枯れの問題が森林公園でありましたが、今の状況を教えてください。

○事務局 松枯れ被害は今も少しずつ枯れている状況で、道沿いや利用者に危険が及ぶところは工事の中で速やかに対処しています。

薬剤散布も毎年公園全域で行っていましたが、生物多様性の問題もあり、今後は計画の方針を変更し、アカマツを残していく範囲を限定してその範囲だけで薬剤散布を行ったり、樹幹注入に移行したり、アカマツを残すエリア以外の箇所については松枯れによる危険木だけを処理して、それ以外の危険の及ばない箇所については自然に任せる方針に変更していくところです。

○委員 薬剤散布をする際は、人が立ち入らないようにしていますか。

○事務局 薬剤散布の期間中は、実施の数週間前から案内をしています。薬剤散布は早朝に行いますので、その間は交通管理員を配備して人が立ち入らないようにしています。

○委員 そもそもニーズがないかもしれませんが、外国人のインバウンドはタ

ーゲットになっていないのか、あるいはニーズがないのか教えてください。

○指定管理者 インバウンドを積極的に取り入れることは行っておりません。旅行の途中で昼食として御利用いただく海外の団体の方は多少いらっしゃいます。

宿泊等での利用はほぼありません。たまに、仕事関係でという個人の方はいらっしゃいますが、インバウンド等になるとお風呂の問題であったり、そもそも森の家は14部屋しかなくインバウンド用に棲み分けるのも難しい状況ですので、積極的にインバウンドを取り込むことはしていません。

＜委員と事務局による意見交換＞

○委員 音やお風呂が狭いなど、これは物理的にどうしようもないかと思っています。それを改善する策はあるのでしょうか。

○事務局 現在、県有施設それぞれの利用状況などを見ながら、あり方の検討をしています。その中で森の家は「一部売却」といった方針も出てきており、大規模にお金を使って改善するということが財政的にも厳しく、全面改修が難しい状況です。

○委員 今の施設をそのまま利用するのであれば、先ほど言ったように団体に特化して1つの団体に貸し切りにしてしまえば音の問題はなくなるので、食事を少し上げて、団体に特化した方がいいのではと個人的には思います。

単価的に低い点をクリアできれば、団体客は毎年定期的に訪れるし、個人客は1回嫌な所に行くと2度と来なくなってしまうので、改修する余地がないということであれば、そういった施設のあり方、使い方を検討した方がいいと思います。

＜評価決定及び講評＞

○委員長 議事を再開します。株式会社ヤタローの評価結果について、各委員の皆様合計点から平均点を計算したところ、年度評価が平均で 93.1 点になりました。

静岡県立森林公園森の家施設等指定管理者評価に関する運用基準に照らし合わせると総合評価としては「優」として評価をすることになりますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

静岡森林公園森の家施設及び静岡県立森林公園施設指定管理者の年度評価については「優」で決定します。

○委員長 次に、期間評価結果について、各委員の皆様の合計点から平均点を計算したところ、9.3 点になりました。静岡県立森林公園森の家施設等指定管理者評価に関する運用基準に照らし合わせると総合評価は「優」となりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

(異議なし)

静岡県立森林公園森の家施設及び静岡県立森林公園施設指定管理者の期間評価については「優」で決定します

(株式会社ヤタロー入室)

○委員 森林公園は都市部に近い森林公園で、非常に市民の利用も多く、年齢幅も広く大変だと思います。それだけに役割はとても大きいと思います。

アンケート結果も、自然体験のために来たという割合が高いということはこの公園の目的が理解され使われていると思います。

私自身も昨年養成講座で研修室と森林公園を使用しましたが、研修室がとても近く非常に使いやすかったです。

○委員 これまで実施している活動の質も量もすばらしいと思いました。

今回は新しいプログラムとして鹿の解体を見ました。私も講師として 10 年以

上やっていますが、深い取組も提案できるということで、入口の入りやすいプログラムから、奥行きのあるプログラムまでやられているなど感心しました。

コメントになりますが、施設の限界があったり様々な外的要因が影響を与えている状況を考えると、毎回同じ目標を設定するのではなく、時代状況に合わせた目標を設定する時代になったのかなと感じました。

○委員 委員の方の御意見のとおり、施設としてアクセスが比較的良いこともあり、今後も利用客が見込めるかと思います。それに対応する形で努力もされていますので今後も非常に期待したいと思います。

○委員 すごく努力が反映されていると感じています。その中で勿体ないと思うのが音の問題です。混雑時には音の問題が発生してしまうことをホームページや受付で説明するだけでも、使用者は気をつけると思いますし、閑散期は配慮して部屋を決めていることを説明すれば、音問題にちゃんと対応していると受け取られると思います。

トイレの蓋に関しても使う方は一部だけだと思いますが、浴室を利用される際に荷物を置くために使いたいなどの方のために、蓋に取っ手をつけた簡易的な物を必要な方は借りられるだけでもいいと思いますし、ちょっとしたことで変わる気がするのでこれからも頑張ってください。

○委員 森の家も森林公園も良く管理されている印象を受けています。

先ほどクレームについて話しましたが、施設の的な問題で対応も難しいと思いますので事前の告知やこういった対応をしたのかを説明するだけでもかなり違うと思います。その点をお願いします。

それと、全ての人が満足することはなかなか難しいことですが、アンケートを見ると、また来たい、また泊まりたいという方が圧倒的に多いので、リピーターを大切にする、リピーターにとって特別感を得られるような特典をつけるなどの工夫をして、施設のファンになっていただくのがいいかと思います。その点の検討をお願いします。

○委員 2つの施設が数年前に一体管理となり、レベルアップしているのが目に見えて分かります。

私も子供が大きくなってしまいましたが、また家族で行きたいと思うイベントがたくさんありました。今年行ってみたいと思いますので頑張ってください。

以上で、静岡県立森林公園森の家施設及び静岡県立森林公園施設の指定管理者の評価は終了しました。